

「LGBT」 隠された真実

性革命

連載第4回

◆「国際的潮流」は絶対善なのか？

い日本増してLGBT運動が盛
いある。実際、欧米など先
進諸国は、次々に同性婚を
合法化しており、トランスジェ
ンダーの権利拡大も著し
く進んでいる。流石に無条件に正し
く行われるべき性革命の風が吹
き荒れたのは、性革命の結
果、結婚制度は形骸化し、子
供の養育環境が激増し、親
のひとり親が、さまたけに
化している。社会は、一
地域も、宗教も、共同体も、
地帯も、弱体化し、孤立が
社会問題となっており、
日本社会も同様の結果、
直面している。同性婚の
制度合法化は、そうした
結婚制度が崩壊している
性革命先進国に正
迎えることが果たして正
しいのかどうか、立ち止ま
て考えることも必要だ。

さらに言えば、同性婚を
合法化は二〇二一年現在で三
十国・地域にとどまり、五
つ加算の百九十三カ国お
び台湾のうちの十カ国お

[illegible]

し、同じアフリカの聖職者など
持て性におりに、厳しい立派な堅
を、含め、同様に、反対が多教派全
体である。同性ブロ対が多数派全
でも最も勢いのある福音派でも
同性愛に反対の福音派でもない
い。単純に人口比で見ると、
カトリック教徒は全世界十
三億人、イスラム教徒は十
八億人、二十億人近いとみ
ておけると、ここに福音派な
を加えると、世界の人口比
では、同性結婚が主流と
は言えない。性的むしろ、欧
諸国は白人の少数民族が深刻
であり、国際的な影響力も
低下傾向にある。
また、トランプ、ジェンダー
の権利拡大についても、女

第2章 日本における

LGBT問題の動向

◆拡大する「同性パートナーシップ制度」

パートナーシップ制度の理想と現実

うな頻人成立谷比推性から、行政が「二十歳以上」なカッブルの条件を満たした同性パに相当するシ関係と証明書を発行する制度がスタートした。シツ以「降度」がスタートした。と意別味を「理」住民がその本入る自治体同様、燎原の火の道が

如くに広がり、現在では百
 三十以上に達している。
 証明書自体には法的拘束
 力や強制力はない。しかし、
 公営住宅への入居や公営病
 院へできるなど、結婚した
 同僚でいるなど、行政サビ
 カツブルに準じた行政サビ
 ビスが受けられる。サビビ
 スの内容は自治体によって差
 がある。も自治体によって
 相当する関係と認められ
 るといっても結婚制度では
 ない。所得税の配偶者控除
 除などを受けることはでき
 ない。
 パートナーシップの解消
 は可能で、その場合は、証
 明書を返却することになる。
 渋谷区における制度の利用
 者「第一号」となったL
 B活動家カップルが二年
 後に解消したことは話題と

子スボーツ参加問題など、
 欧米諸国内部ですら、近年、
 バランスを取る必要性が指
 摘されるようになっていた。
 こうした状況の中で、日
 本はどのような立場を取る
 べきなのか。一部イスラム
 諸国のような極端な同性愛
 者差別は論外と端々も、行
 き過ぎた欧米諸国の退治も
 反面教師と考えるべきだ。
 力たり世界やイスラムなど
 長らく世界の良識を主導し
 てきた宗教の観智を経視す
 べきではない。過激化した
 欧米の極端な運動とは一線
 を画し、社会全体と自由と
 個人の権利を秩序と利益と
 のバランスを取った社会な
 るの在り方を追求することに
 おいて、日本がモデルを示
 すべきではないだろうか。

よ、なとをり規のでうアの事体がなま綱あケ導に―に首のバ導し
る糸いは課、制権、なルマ務の、れりとる、入、よ、長ほタ入た
バ例、です義し利住もの二処行自な聞は、スすつ綱、権が、す上
―に、きこ務たを民のよユ理政治いきあ要もるで、る限、るで

なつた。の審議で決定した時の渋谷区議会
「結婚を以て両性の合意に基いて成立する」と規定し、
「一定の憲法の条例に違反しない限りは」
とし、他党派は「性的少数者」と主張、賛成
の人権尊重は「世の流れと一致する」とも
多数致す可とした。多数的に決したと
言っても、LGBT活動家らと協議を続けてきた区側が突如として内容を十分理解させてお
民が区内への説明責任を十割以上を担
りもなく、条例を成立させたと言
分に果たしたとはとても言
い難いものだった。
それでは法律に近い効力を有する自治体では、条例に反した場合も現行業
業者名を公表することも規定している。前名の公表は大企業や大規模な事業者にとっ
ては大きな誤解があるが、小規模な事業者にとつては、イメージダウンとなることがあ
る。また、追いつまれないから、非常

に厳しい規定なのである。

制度導入には、渋谷区



東京都渋谷区でパートナーシップ条例案が区議会で審議されている
2015年3月、渋谷駅前で「反対」を訴える人たち

トナー江川ツッパ網区制度導
谷おや江川ツッパ網区制度導
のがとんど要川網区制度導
の自治体んだ大した三限は
てのも首長に力えつたとい
で、入や活決考え方やるき
あ、係に、住決まのて思
関情だ。導入民の意い
実見方を変えると、パート

ナージップ制度の拡大には、
LGBT運動の“先進国”
ともいえる米国に留学し
なると言える。米国の思想
を受け、政治的意識や活動
を遅れたという住民が、上
よう、危険な社会から目
独自の危険な社会から目
側面が強いと言え、改革の
制一方向、パナシがブ
える理由、導に入ると、自
賢一家族には、同棲体が
認める、族にない、それが
入院で、面会、たに、支
け居る、など、生活に差
出ている、と、生、当、そ
性訴え、あ、た、生、当、そ